

独立速射砲第二十六中隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	六	二〇	大陸命第一三三七号に依り独立速射砲第二十六中隊臨時編成下令	
	六	二四	編成完結（東安省東安）	
	七	一	移駐のため東安出發	
	七	三	ハルビン着	
	七	九	ハルビン出發	
	七	一〇	鮮滿国境通過	
	七	一三	釜山着	
	七	二一	釜山港出帆	
	七	二三	門司港上陸	
	七	二五	門司港出帆	
	七	二七	鹿児島寄港	
	八	一七	同港出帆	
	八	二〇	沖縄県宮古島上陸	
			同日より同地附近の警備	

				至自
				二〇
				六三
				〇六
		八一五	停戦	天号作戦に参加
	二二	二九	内地帰還のため宮古島出帆	
	二二	二九	浦賀港上陸	
	二二	二九	復員完結	

		年	月	日	略	歴
		昭和二〇	一	二五	一	二七
					軍令陸甲第三号に依り第三十二野戦貨物廠第四被服移動修理班編成下令	
					編成完結(宮古島に於て)	
					同日より同島附近の警備	
	至	二〇	六	三〇	天号作戦に参加	
			八	一五	停戦	
		二	一	二五	内地帰還のため宮古島出帆	
			一	三〇	浦賀港上陸	
			二	二	復員完結	

第三十二野戦貨物廠第四被服移動修理班

第二十八師団第三野戦病院

昭和一九	年月日	略	歴
七三〇	八月二二	軍令により動員下令	
八二二	八月二二	動員完結（甲府）	
九二〇	九月二〇	甲府出発	
九二三	九月二三	鹿児島着	
一〇九	一〇月九	鹿児島港出帆	
一〇二三	一〇月二三	那覇本島上陸	
一〇二八	一〇月二八	那覇港出帆	
一一二	十一月二	石垣島上陸沖繩県八重山郡石垣町着	
		同日より同島の警備	
		天号作戦参加	
		石垣島附近の守備	
		停戦	
		内地帰還のため石垣港出帆	
		鹿児島港上陸	
		復員完結	

独立混成第四十五旅団司令部

年	月	日	略	歴
昭和一九	五	三	軍令陸甲第四十七号に依り独立混成第四十五旅団司令部編成下令	
	六	五	編成完結（沖繩）	
	六	七	沖繩県八重山郡西表島出發	
	六	八	宮古島上陸	
			同日より同島附近の警備	
			天号作戦に参加	
			停戦	
			内地帰還のため宮古島出帆	
			鹿児島上陸	
			復員完結	

独立歩兵第二九九大隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	八	九	軍令により編成下令	
	八	一	編成完結(丸亀)	
	八	一五	移駐のため丸亀出發	
	八	一七	鹿兒島着	
	九	六	鹿兒島港出帆	
	九	九	沖繩県那覇着	
	九	二	那覇出發	
	九	一四	石垣島上陸	
	自	自	同日より同島附近の警備に任ず	
	自	自	間石垣島に於て南西空襲戰鬥に参加	
	二〇	二〇	天号作戰に参加	
	二〇	二六	爾後同島防衛勤務	
	二〇	八	停戦	
	二一	二	内地復員のため石垣島出帆	
	二一	二九	浦賀港上陸	
	二二	二	復員	

独立歩兵第三〇〇大隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	七	一五	軍令により独立歩兵第三〇〇大隊編成下令	
	八	八	編成完結(徳島)	
	八	一四	屯営出発	
	八	一六	鹿児島着	
	九	六	鹿児島港出帆	
	九	九	沖縄県那覇着	
	九	一二	那覇出発	
	九	一四	石垣島上陸	
			同日より同島附近の警備に任ず	
自一九	〇〇	一三〇	間石垣島に於て南西空襲戦斗に参加	
自二〇	六三	二〇六	天号作戦に参加	
			爾後同島防衛勤務	
	二〇	八一五	停戦	
	二一	一五	内地帰還のため石垣島出帆	
	一	一四	広島県大竹港上陸	
	一	一五	復員完結	

独立歩兵第三〇一大隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	八	七	陸軍機密第四二三号に依り独立歩兵第三〇一大隊編成下令	
	八	一一	編成完結(高知)	
	八	一四	屯営出發	
	八	一六	鹿児島着	
	九	五	鹿児島港出帆	
	九	九	沖縄県那覇上陸	
	九	一二	那覇港出帆	
	九	一四	石垣島上陸	
			同日より同島附近の警備	
自	一九	〇〇	石垣島に於て南西空襲戦斗に参加	
至	〇	〇六	天号作戦に参加	
自	二〇	〇八	爾後同島防衛勤務	
	二〇	一五	停戦	
	二一	一六	内地帰還のため石垣島出帆	
			鹿児島港上陸	
			復員完結	



独立歩兵第二七一大隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	七	一五	軍令陸甲第八十三号に依り独立歩兵第二七一大隊編成下令	
	七	二三	編成完結(丸亀)	
	七	二三	屯營出發	
	七	二四	門司着	
	七	三一	門司港出帆	
	八	五	鹿兒島寄港	
	八	六	鹿兒島港出帆	
	八	七	奄美大島沖通過	
	八	一二	宮古島港到着	
	八	一八	宮古島上陸	
	八	二三	宮古島港出帆	
	八	二三	石垣島上陸	
			同日より同島附近の警備	
至自	二〇	六三	間天号作戦に参加	
		〇六		

二〇 八一五	爾後同島防衛 停戦
三二二六	内地帰還のため石垣島出發
三三三〇	大竹港上陸
三三三二	復員完結

特設第四十八機関砲隊

昭和一九	年	月	日	略	歴
八	三	三	三	軍令に依り臨時編成下令	
九	二	五	五	編成完結(舞鶴)	
一〇	二	三	三	舞鶴出発	
一一	二	四	四	佐世保港出帆	
一二	二	四	四	沖繩縣八重山郡石垣島に上陸	
一三	二	四	四	石垣島白保連軍航空基地警備	
一四	二	四	四	石垣島海軍基地警備並戦斗参加	
一五	二	四	四	天一号作戦参加	
一六	二	三	三	石垣島地区防衛勤務に従事	
一七	二	三	三	石垣島出帆	
一八	二	三	三	浦賀港上陸	
一九	二	三	三	復員完結	

歩兵第三十六連隊

年 月 日	略 歴
昭和一八二二一	軍令に依り編成完結（哈爾浜）
一九一五	哈爾浜出發
一六	新京着
三二三	移駐のため新京出發
三一五	齊々哈爾着
六二三	齊々哈爾出發
六二四	鮮滿国境通過
六一六	釜山着
七二	釜山港出帆
七五	吳港着
七七	吳港出帆
七一九	沖繩県南大東島上陸
二〇八 一五	同日より同島附近の防衛に任ず 停戦

	<p>一三二六 一三三〇 一三三〇</p>
	<p>内地帰還のため南大東島港出帆 広島市以島上陸 復員完結</p>

特設第五十機関砲隊

年	月	日	略	歴
昭和一九	八	二〇	軍令により編成下令	
	八	二三	編成完結（中部第七十一部隊）	
	九	二五	舞鶴出発	
	九	二七	佐世保着	
	一〇	二二	佐世保港出帆	
	一〇	一五	鹿児島寄港	
	一〇	二〇	鹿児島港出帆	
	一〇	二三	那覇港着	
	一〇	二六	那覇港出帆	
	一〇	二八	奄美大島寄港	
	一〇	三一	奄美大島出帆	
	一一	一	南大東島上陸	
			同日より同島守備	
	八	一五	停戦	

	<p>二〇 一一 一六</p>
	<p>一三 二〇 一一</p> <p>婦選のため南大東島上陸 呉港上陸 復員完結</p>

		年 月 日		略 歴	
昭和一九	六二〇	六二四	七一八	七一九	七二一
編成完結（綏陽）	移駐のため綏陽出發	鮮満国境通過	釜山着	釜山港出帆	同日第三十二軍司令部の隷下に入る
同日門司港着	門司港出帆	那覇港上陸	那覇港出帆	南大東島上陸	南大東島守備並に戰鬥に従事
間大東島守備並に戰鬥に従事	停戦				
至自	二一九	八二五	八二一	八二〇	八一



二〇 三二天	三三〇	三三〇
復員のため南大東島出發	広島県宇品上陸	復員完結

重砲兵第六連隊

昭和一六	九	一	軍令に依り臨時編成下令
	九一九		編成完結(下関)
	九二〇		屯営出發
	九二二		長崎港出帆
	九二四		奄美大島古仁屋港上陸
	一一八		軍令陸甲第八十一号に依り編成改正下令
	一一三〇		編成改正完結
	一七	九二五	西軍參勤第一七〇三号に編成改正下令
	一九	四一	球作命甲第一号により第三十二軍の隷下に編入
		五一五	軍令陸甲第四十七号により重砲兵第六連隊と改称す
至自	一九六	三二	間奄美大島要塞重砲連隊に在りて大東亜戦役に従事す
至自	二〇九	三八	間重砲兵第六連隊に在りて南西諸島防衛警備並に沖繩作戦に参加す
			昭和二十年八月十九日より南西諸島治安維持に従事す
	二〇	八一八	軍令陸甲第二二六号に依り復員下令

	二〇七
	内地帰還のため古仁屋港出帆
	博多港上陸
	復員完結

1871